

◆授業のポイント◆

- ・ 「教えて考えさせる授業」を取り入れた学習過程の工夫
- ・ 主体的に数学的活動に取り組ませる手立ての工夫

## 数 学 科 学 習 指 導 案

学 級 1年5組 (男子22名 女子18名 計40名)  
 場 所 1年5組教室 (1年棟4階)  
 授業者 教 諭 牧之角 陽 一

- 1 単元 正の数・負の数  
 2 題材 除法  
 3 本時の実際 (5 / 8)

(1) 目標

- ① 正、負の数の除法に関心を持ち、計算の意味や計算方法を調べようとする。 [関心・意欲・態度]  
 ② 乘法をもとにして、正、負の数の除法の方法を考えることができる。 [数学的な見方や考え方]  
 ③ 正、負の数の除法ができる。 [技能]  
 ④ 正、負の数の除法を理解している。 [知識・理解]

(2) 展開

過程	学 習 活 動	時間 形態	○指導上の留意点 ◎評価 ※授業のポイントについて
導 入	<p>1 学習問題</p> <p>【学習問題】 10日間体重が<math>-3\text{kg}</math>になりました。その結果、今の体重が<math>55\text{kg}</math>です。3日前の体重を求めよ。</p> <p>【学習課題】 正の数・負の数のわり算を考えよう。</p>	5分 一斉	<p>○ 前時の学習を確認する。</p> <p>○ 電子黒板を利用して図などを提示することで学習問題を把握させる。</p> <p>○ 全員で学習課題を確認し、学習への見通しを持たせる。 [見通し]</p>
展	<p>2 教える場面</p> <p>《個人理解》  <math>\square \times (-2) = +6</math> であることから  <math>(+6) \div (-2)</math> の計算をする。                  ・除法と乗法の関係を利用して求める。  <math>(+8) \div (-2)</math> の計算をする。                  ・符号や絶対値に着目して、除法をする。</p> <p>3 考えさせる場面</p> <p>《理解確認》                  ・教科書で正、負の数の除法を確認する。                  ・教科書の計算をする。  <math>(+10) \div (+2)</math> <math>(-8) \div (-4)</math> など</p> <p>《理解深化》                  ・小数の計算をする。  <math>(+21) \div (-0.3)</math> など</p>	10分 一斉	<p>○ 小学校で学習した乗法と除法の関係を想起させ、それを正の数と負の数にも適用して除法の式を立式する。</p> <p>○ 商を求めるには、符号と絶対値をどのように決めればよいか考えさせる。</p>
開	<p>4 評価問題</p> <p>次の計算をする。(1) <math>(+10) \div (+5)</math>                  (2) <math>(-12) \div (-3)</math> など</p> <p>5 まとめ(自己評価)</p> <p>「授業でわかったこと」「今後やってみたいこと」をノートにまとめ、学習を振り返る。</p>	15分 一斉 ペア 10分 グループ	<p>※ ペアやグループで説明しあい理解できたか確認する。</p> <p>◎ 正、負の数の除法を理解することができたか。</p> <p>○ 符号と絶対値に着目して除法の計算をさせる。まず符号を決めて、それから絶対値の商を求めることを確認する。 [振り返り・見通し]</p> <p>◎ 除法の計算をすることができたか。</p>
終 末	<p>6 次時予告</p> <p>本時の学習を活用して、分数の除法を学習することを学ぶ。</p>	2分 一斉	<p>○ 家庭学習で、本時の復習と次時の予告の指示をする。</p>

(3) 評価

- ① 正、負の数の除法に関心を持ち、計算の意味や計算方法を調べようとしたか。  
 ② 乘法をもとにして、正、負の数の除法の方法を考えることができたか。  
 ③ 正、負の数の除法ができたか。  
 ④ 正、負の数の除法を理解していたか。